

# 2014年度 学校自己評価システムシート（私立 立教小学校）

目指す学校像	キリスト教信仰にもとづき、自己と他者を大切にする児童を育てる学校を目指す。
--------	---------------------------------------

重点目標	1 神様に喜ばれる子どもの育成（教育目標） 友だちのよいところがわかる子ども 自分のよいところを表現できる子ども 広い視野でものを見られる子ども すべてに感謝できる子ども 2 教育環境の充実 3 児童を支える体制の推進
------	---

達成度	A	ほぼ達成	(8割以上)
	B	概ね達成	(6割以上)
	C	変化の兆し	(4割以上)
	D	不十分	(4割未満)

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標					年 度 評 価 ( 3 月 現 在 )		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	教育目標への到達 (1) 教育への取り組み           (2) 学校行事の充実	(1) ①建学の精神の理解  ②キリスト教への理解  ③指導目標の設定 (教科研究部の目標)  ④カリキュラムの改善  ⑤授業方法の改善  ⑥家庭学習の奨励  ⑦教員のスキルアップ  (2) ・体験学習の充実	(1) ①「立教単元」などで学習  ②礼拝(週1)、聖書の授業 祈りで始まり祈りで終わる学校生活 行事の前後の祈り  ③教科研究部、各教科部会での研究、 部会発表  ④各教科部会での研究、発表  ⑤各教科部会での研究、  ⑥家庭学習の明示と確認 日常、長期休み  ⑦各種研修会の活用 私立学校、キリスト教学校教育同盟、 国公立  (2) ・キャンプ、遠足、運動会、校外学習 (フィールドワーク、グローバルエクスカージョン 田植え・稲刈りなど)	・①～⑦について実施できたか。           ・充実したプログラムを実施できたか。	①1～4年生生活、社会で実施  ②基本的に低学年、高学年ごとに毎週礼拝を 実施。行事の前後にお祈りを実施  ③全体会(3回)実施  ④授業記録に基づく学習内容の研究  ⑤教科ごとの研究授業実施  ⑥毎日の宿題の連絡と確認  ⑦全教員が各種研修会に参加  (2) すべてのプログラムを実施	B  A  B  A  A  A  A	①「立教単元」内容の再考。  ②礼拝やお祈りを大切にする姿勢 を持つよう今後も指導する。  ③今後も子ども一人一人がいきる 教育を目指すため研究を進める。  ④学年末に教科の主任会で振り返り を実施する。 ⑤今年度も教科ごとに実施する。  ⑥家庭との連携を今後とる。  ⑦国公立学校の研修会にも参加 する。 (筑波大学附属小等)  ・プログラムの更なる充実をはか るよう委員会で検討する。
2	教育環境の充実 (1) 運営と管理	①健康管理体制について  ②施設・設備の充実	①校医、こころのケアセンターとの連 携 スクールカウンセラー(週2回)  ②iPad miniの整備 講堂・校舎外壁の耐震補強 ・生活科の畑・果樹園の活用	①校医、スクールカウンセラ ー、心のケアセンターとの 連携がとれたか。  ②授業で活用できたか。	①校医来校(毎週水曜日) スクールカウンセラーとの連携 ケアセンターでの相談  ②iPad miniを授業で活用 耐震補強により児童の安全確保 生活科で畑・果樹園活用	A  A	①今後も校医、スクールカウンセラー、ケア センターとの連携をはかる。  ②情報機器のさらなる充実 ・児童の安全のための施設改善 ・畑・果樹園の更なる活用をはか る。
3	児童を支える体制の推進 (1) 児童の生活指導について  (2) 保護者への対応   (3) 安全について	①生活・進学指導の充実  ②開かれた学校づくりの推進  ③危機管理・安全対策につい て	①児童面談、  ②保護者面談、保護者からのアンケート (公開) 学年別PTA、面談、 学年・学級通信  ③ICタグ、保護者の携帯へのメール発 信(非常連絡など)	①児童とのコミュニケーションがとれたか。  ②保護者とのコミュニケーションがとれたか。  ③ICタグ、携帯メールを有効に 活用できたか。	①児童との面談(生活、進学など)  ②保護者面談(1・2年：每学期) (3～6年：1・2学期) 学年別PTA各学期に1回  ③ICタグ、メール送信を有効に利用できた。	A  A  A	①今後も機会を見つけ、児童との 面談を持つようつとめる。 ②1・2学期の面談(1、2年生 は各学期)各学期のPTA、学 年、学級通信を通して保護者との コミュニケーションをはかる ③ICタグを有効に利用する。